

(公財) 日教弘教育賞論文募集事業
2026 (令和8) 年度 山梨支部教育賞論文募集要項

山梨県内の教育関係者が日々行っている教育実践の優れた結果の報告の場として、教育賞論文を募集する2026(令和8)年度は下記の要項のとおり実施する。

1 主催

公益財団法人日本教育公務員弘済会山梨支部

2 募集要件

(1) 募集の趣旨

県内各学校・教育機関における個人または学校の教育研究を推進し、研究意欲を高め、優れた研究論文を表彰・助成し、本県教育の振興に寄与する。

(2) 募集の対象にならないもの

① 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表したもの。

② 他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの。

③ 日教弘教育賞応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募(推薦含む)した内容のもの。

④ 過去5年以内(2021年度～2025年度)の受賞校、受賞者(学校部門・個人部門を問わず)応募はできない)

※ 内容が類似したものであれば、論文の様式でないもの(申請書・レポート等)であっても応募ずみとみなす。

※ 過去に類似した内容で発表または他団体に応募ずみのものは、下記の条件を満たすもののみ対象とする。

i 新たな内容に主軸を置いているもの(内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とする)

ii 過去に応募した書類を提出できるもの(選考委員会で使用)

※ 日教弘教育賞応募後、推薦を受けて他団体に応募した場合も対象外とする。すみやかに支部あてに連絡する。

(3) 募集対象

論文は①学校部門(団体を含む)、②個人部門(研究グループを含む)の2部門

① 学校部門 国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体

② 個人部門 上記の学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人及びそれらの人々で組織する研究グループ等

[教育関係者とは山梨県各市町村等に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者]

※ 学校部門は校長が応募者となる。

※ 他の教育機関・グループ等から学校部門として応募する場合は、機関の所属長・代表者が応募者となる。以下、「校長」を「機関の所属長・代表者」と読み換える。

※ 応募の際、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号等をお聞きする。詳細は別紙「応募者調査書」を参照。

(4) 募集期間

2026(R8)年7月1日(水)～9月30日(水) 当日消印有効

(5) スケジュール

令和8年10月中旬 教育振興事業選考委員会にて選考を行う。

10月下旬 選考結果を通知する。

令和9年3月上旬 日教弘本部もしくは山梨支部で表彰

(6) 応募方法

① 研究主題

論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとする。

② 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワードを使用する。

指定の原稿用紙はないので、下記のとおり設定の上、論文等を提出する。

(「要旨」・「論文」とともに必須)

なお、電子データ (CD-ROM 等) を併せて提出すること。

(「要旨」・「論文」はそれぞれ別のファイルで作成する)

要旨・論文の様式は日教弘HPよりダウンロードできます。ダウンロードしたファイルは応募様式の設定になっていますのでご利用ください。

<https://www.nikkyoko.or.jp/other/dl.html>

ア 要旨

* 様式

48 字×43 行×1 段組×A 4 判 1 ページ横書き (フォントサイズ 10.5)

* 記載項目

- ・ 応募者 (学校部門は校長) の所属学校、役職、氏名
- ・ 研究主題
- ・ 研究副題
- ・ 研究の要旨 (論文の内容をまとめたもの)

イ 論文

* 様式

24 字×43 行×2 段組×A 4 判 4 ページ横書き (フォントサイズ 10.5)

《応募者記載欄》

- ・ 1 ページ目 1~6 行目 (段組み左右・2 段分) に記入
- ※ 1 ページ目の行数が様式に沿う (43 行) 場合のみ、フォントサイズの変更可能 (フォントサイズ 10.5~12 程度)
- ・ 記載事項は研究主題、副題、応募者の所属学校、役職、氏名とする。
- ※ 学校名は都道府県・市区町村 (町立・村立の場合は郡も) を含め、正しく記載する。
- ※ 学校部門の応募者は校長に限る。
- ※ グループの応募者はグループの代表者に限り、所属学校を グループ名に換えて応募することも可能。

《本文》

- ・ 2 段組で記入する
- ・ 1 ページ目 7 行目 (左段) ~ 4 ページ目 43 行目 (右段) の中に本文及び図表・写真等の資料を収める。
- ※ フォントの大きさを上記以外にすると、設定が正しくても、字数・行数が様式と異なって表示されることがある (特に応募者記載欄)。
印字した際の字数・行数の様式が正しい場合に限り、フォントの大きさが上記と異なっても不問とする。
- ※ 上記と異なる様式・不備がある状態で応募した場合、選考の対象外となることがある。日教弘ホームページで様式を確認。
- ※ 要旨及び論文に記載する氏名・所属学校・役職・研究主題等は、不一致がないようにする。

③ 論文の書き方

ア 論文は横書きとする。

イ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用する。

※ 学校部門は校長が応募者となるが、他に校長以外の担当者 (執筆責任者・執筆担当者等) がいる場合は、論文の文末に記載することができる。

(例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○)

- ④ 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあける。
(レイアウト等については日教弘ホームページの例を参照する。)

(<https://www.nikkyoko.or.jp/other/dl.html>)

- ⑤ 図表・写真等の資料の留意事項

掲載する図表・写真等の資料は、「教育研究集録」作成時に見にくくならないように配慮する。A4判1ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにする。あくまで補足資料であるため、論文の内容は本文に記入する。

- ⑥ 論文応募方法

印刷した論文および電子データ (CD-ROM 等) を、公益財団法人日本教育公務員弘済会山梨支部あてに送付する。

(応募された論文のうち、最大3編を日教弘教育賞論文として本部に推薦する。)

※ 応募要件を満たしていない場合、受賞の対象外となる。(受賞後に発覚した場合も賞の取消及び賞金の返金を求めることがある)

〈個人情報取り扱いについて〉

- ・申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用する。
- ・助成が決定した場合は、申請書に記入された個人・学校名及び論文テーマと助成金額や交付の様様をホームページ、広報誌等で公表する場合もある。

3 表彰及び賞金額

- (1) 日教弘教育賞・最優秀賞 2 篇
学校・研究団体(50 万円)または個人・研究グループ (30 万円)
- (2) 日教弘教育賞・優秀賞 6 篇
学校・研究団体(40 万円)または個人・研究グループ(20 万円)
- (3) 日教弘教育賞・優良賞 8 篇
学校・研究団体(30 万円)または個人・研究グループ(15 万円)
- (4) 日教弘教育賞・奨励賞(上記外論文)
学校・研究団体(10 万円)または個人・研究グループ(5 万円)
- (5) 山梨支部奨励賞
学校・研究団体(3 万円)または個人・研究グループ(2 万円)

※ 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当数は、選考結果により変わることがある。

※ 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当者については、表彰式を行い贈呈する。

なお、日教弘教育賞・奨励賞該当者及び山梨支部奨励賞該当者については、山梨県支部から贈呈する。

詳しい日程等については、該当者に別途案内する。

※ 日教弘教育賞研究集録を刊行し、教育の振興に役立てる。最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当論文については全文を掲載するので、誤字・脱字等がないよう注意する。(応募後は修正することができない。) 奨励賞該当論文については「論文の研究主題・応募者の氏名・勤務校」を掲載するとともに、希望者に論文を公開する。また、ホームページにも掲載する。

※ 応募された原稿の著作権は当会に所属する。

※ 他の論文等にある図表、写真や長い文章を引用する際には、著作権所持者・団体の引用許可を応募者が取る。

※ 児童・生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取る。

※ 応募者の連絡先については、「応募者調査書」に記載する。要旨及び論文に電話番号・住所等の記載は不要。

4 選考

(1) 選考方法

- ①教育振興事業選考委員会で選考後、幹事会の議を経て支部長が本部推薦者並びに支部表彰対象者を決定する。
- ②採否は文書で各申請者に連絡する。受賞の理由等、選考に関わる問い合わせには回答しない。

(2) 選考基準

- ①現代の教育課題を適切に取り上げているか
- ②教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか
- ③児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか
- ④理論と実践が一体となった研究であるか
- ⑤その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか

5 その他

- (1) 提出された書類等は返却しません。
- (2) 書類管理の都合上、当支部への持参はお断りします。

【問い合わせ・申請書類送付先】

(公財) 日本教育公務員弘済会山梨支部

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 3-33-7 教育会館 4 階

Tel : 055-222-3468 Fax : 055-288-8126

E-mail : yamanashi@nikkyoko.or.jp